

会長就任のご挨拶

米国でのトランプ大統領就任、フランスでのマクロン大統領就任、韓国での文大統領就任と、各国でのトップが代わり、グローバルな課題と多国間の枠組みが益々複雑となっています。

中国は、中国国家统计局のデータによれば2016年度のGDPはおよそ日本円で1,240兆に達し、米国に次ぐ世界第二位の経済大国であります。14億を超えるであろう人口を有し、日本の約25倍の国土など、国力を考えますとまだまだ大きく成長していく事は確実であります。

習近平国家主席は就任6年目に入り、現代版シルクロードである「一带一路」計画を大きく打ち出し、陸ではユーラシア大陸内部地域を経てヨーロッパまで、海ではアジア、インド洋を経てアフリカにまで至る中国を中心とした経済圏を確立しようとしており、関連する国々地域からの支持も拡大しています。さらにアジアインフラ投資銀行を主導し中国の立ち位置は万全の方向へと進みつつあることは認めざるを得ないものであります。

日本にとり隣国である中国は最大の貿易相手国であり、中国にとっても日本はアメリカに次ぐ貿易相手国であります。今後も相互発展の為経済的なパートナーとして協力していかなければなりません。

また、人的交流についても、訪日中国人は2016年度で年間600万人を超え、年々記録を更新しており、日本の経済的利益のみならず、日中関係全体にとっても大いに歓迎すべきことでもあります。ただ、残念なことに、政府間ではギクシャクが続いており、双方の国民感情も決して良いとは言えませんが、民間のデータによりますと日中双方で約7割以上の方が関係改善する必要があると考えています。

関西日中平和友好会は1民間の友好団体として、日中の「戦略的互惠関係」の中身やそこでの双方の役割を具体的にイメージすると共に、多くの中国の人々との「直接交流」の場を提供し、現実の日本社会、日本人に触れていただき、双方のイメージ改善に努め、相互理解と相互信頼を増進していく事を中心に活動していきます。

今後はさらに会員の輪を広げ、当会の諸活動を充実化し、ビジネス、文化、芸術、技術等の各分野にわたる交流を促進し、会と会員の皆様が共に発展できる事業を、皆様と共に展開していきたいと考えていますので、是非とも皆様方のご協力ご鞭撻をお願いいたします。

2017年7月1日

第10代会長 神谷 坦